

【地域連携学習】高原小３年生と地域の皆様

高原町

Takaharu town assembly report

# 議会だより

## たちばな

「高原町の町木」

96号

**令和８年　４月臨時会（第３回）　６月定例会（第４回）**

【目次】


議会のあらまし・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２～Ｐ３
議員と語ろう会・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４～Ｐ５
一般質問、議会の在り方検討特別委員会・Ｐ６～Ｐ１０
議会の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１１
きらり☆たかはるびと・編集後記・・・・・・・Ｐ１２

## 4月 臨時会

## 第3回臨時会において、承認3件、議案1件（補正予算1件）が提案され、原案どおり、承認、可決しました。

予算に対する質疑の様子QR☞

**【承　認】**

〇高原町税条例等の一部を改正する条例
〇国民健康保険税条例の一部を改正する条例
〇令和７年度高原町一般会計補正予算（第１２号）　補正額 ２億６,３８３万３千円　予算総額 ７７億７,０２５万５千円

※主なもの
・たかはる暮らし応援商品券事業を、翌年度に繰り越す、繰越明許費の追加
・特別交付税等の額の確定などによる各種基金への積み立て

**【議　案】**

〇令和８年度高原町一般会計補正予算（第１号）　補正額 ２,３３１万３千円　予算総額 ７６億２３１万３千円

※主なもの
・国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に係る事業（観覧席）の財源更正
・総合運動公園の１画に建設する総合交流センターの実施設計・・・・・・・・・・２,０００万円

Q 学校・庁舎建設が先ではなかったか。総合交流センターを先にする理由は。
A 学校・庁舎建設を遅らせるという事ではない。並行して進める。地域未来交付金が２分の１の補助率で令和８年度までの有利なものであるため。

Q 観覧席（５,７７９万７千円）は地域未来交付金を充当するのか。
A 地域未来交付金３,８８１万6千円のうち２,８８１万6千円が観覧席で、残りの1千万円が総合交流センター（実施設計）に充当する。

Q 総合交流センターの経済効果の試算は。
A 合宿・宿泊・イベント・レンタルオフィス等の使用料等が見込まれる。関係人口等の創出を目的としている。

Q 総合交流センターの場所や向き、施設内容に関する調査は。
A 今後は町議会や様々な団体の意見を聞いて進めたい。今後は町議会や町民の皆様、様々な団体等の意見も聞いて進めたい。

Q イベント広場全体の舗装、側溝の蓋の整備が必要では。
A できる範囲であればやりたい。できない部分については今後検討する。

## 6月 定例会

## 第4回定例会において、報告1件、同意7件、議案7件（条例3件、契約1件、補正予算3件）が提案され、原案どおり、同意、可決しました。

**【報　告】**

〇令和７年度高原町一般会計予算繰越明許費　繰越計算書
・年度内完了が困難になった１０事業２億２，４２１万７千円を繰越

**【同　意】**

〇農業委員の任命

| | | | |
|---|---|---|---|
| 入木 | 真一さん（上後川内区） | 加藤 | 正博さん（小塚区） |
| 郡山 | 信敏さん（川平区） | 佐藤 | 哲夫さん（西広原区） |
| 下村 | 健一さん（上後川内区） | 邊木園 | 浩子さん（出口区） |
| 横山 | 安美さん（上後川内区） | | |

・任期は令和８年７月２０日から令和１１年７月１９日までの３年間

【議　案】

〇国民健康保険税条例の一部を改正する条例
　・国民健康保険税の子ども・子育て支援納付金の課税額の設定
〇病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
　・診療科目の追加　―　皮膚科
〇高原町児童遊園の設置及び管理運営に関する条例を廃止する条例
　・小塚児童遊園の用途廃止に伴い、町内全ての児童遊園の用途が廃止されるため

国保条例の質疑QR　国保条例の反対討論QR　国保条例の賛成討論QR

児童遊園廃止の賛成討論QR

〔物品購入契約〕
〇高原町消防団第７部ポンプ自動車購入事業（3,２４５万円）
　・南狭野区、北狭野区、祓川区、湯之元区、中平区の一部を管轄する第７部の消防ポンプ自動車

〔令和８年度補正予算〕

| | 補正額 | 予算計 |
|---|---|---|
| 〇高原町一般会計補正予算（第２号） | 4,６２６万９千円 | ７６億4,８５８万２千円 |
| 〇高原町介護保険事業特別会計補正予算（第１号） | ８３万６千円 | １４億３０２万円 |
| 〇高原町病院事業会計補正予算（第１号）資本的収入 | ４６０万円 | １億4,４７０万１千円 |
| 資本的支出 | ４６１万８千円 | １億7,３９６万３千円 |

・皮膚科診療等の備品購入を含む

※主な質疑

**◎社会教育総務費**
教育版「マインクラフト」委託料　２３１万円
Q 昨年度の実績と意義は。委託料の内訳は。
A １回目が体験会、２回目がワークショップ予定。プログラミングの学習目的。運営費、機材のレンタル代等々である。全額、企業版ふるさと納税の子育て支援から。

**◎社会教育総務費**
地域学校協働活動事業　特別講演会　１０６万円
Q 対象者と周知方法は。
A 小学生から高校生。小中学生の保護者。パブリックビューイングも検討する。広報やLINEで周知する。

**◎観光費**
高原町観光滞在・町内消費増大事業補助金　２００万円
Q 具体的な内容は。
A 町内の宿泊施設を利用された方へ町内店舗で使用できるのクーポン券を発行。既にゴールデンウィークで3,000枚を消費したため、夏休み等に備える為に追加するもの。

**◎塵芥処理費**
印刷製本費（ゴミ袋作製）　７８７万円
Q 町民の不安の声はあるか。
A 令和９年８月までの準備である。落ち着いてはきたが、サイズによっては不足している。不安の解消に努める。

**◎農業振興費**
地域農業構造転換支援事業補助金　1,０１４万３千円
Q 内容と財源は。
A ２経営体が対象　乗用野菜収穫機を２台とトラクター１台。財源は県補助金。

**◎林業振興費**
鳥獣被害防止総合対策交付金関係事業補助金742万円
Q 内容と財源は。
A ワイヤーメッシュ柵3,968m、後川内３地区。電気柵3,952m、後川内１地区。緊急捕獲支援事業（鹿・猪）が２２１頭、町内全域。財源は県補助金である。

**採決が分かれた議案の議員別賛否一覧　令和8年第4回定例会　議決結果（内容）**

| 議案番号 | 件名 | 議決結果 | ①岩元礼子 | ②福澤卓志 | ③温水宜昭 | ④ | ⑤山下香織 | ⑥西嶋陽代 | ⑦外村仁 | ⑧郡山貞利 | ⑨末永充 | ⑩前原淳一 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 議案第33号 | 国民健康保険税条例の一部を改正する条例 | 可決 | ● | ○ | ○ | ― | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ― |

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

# 議員と語ろう会でいただいた主なご意見

４月２０日～２３日に４会場で開催した「議員と語ろう会」では、町民の皆さまから多くのご意見・ご要望をいただきました。いただいた声を３つのテーマに分けてご紹介します。

## テーマ①
## これからの高原



**主なご意見**

- □スクールバスを有効活用してほしい
- □ふるさと納税をもっと活用して財源確保を
- □高原町の魅力をもっと発信してほしい
- □ホームページを見やすくしてほしい
- □若い世代が働き続けられる環境づくり
- □歴史や神話を観光に活かしてほしい
- □学校跡地を有効活用してほしい
- □学校跡地で加工場・サウナ整備の活用
- □「高原の水」のブランド化やオリジナルグッズを販売してほしい

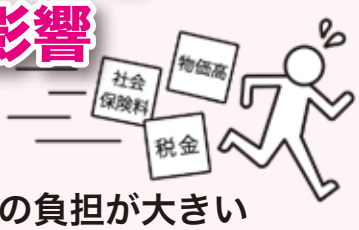







▲4月20日 狭野体育館

## テーマ②
## 物価高騰による生活への影響




**主なご意見**

- □燃料費や電気代の負担が大きい
- □高齢者医療費への支援が必要
- □リフォーム補助金の復活してほしい
- □農業資材・肥料・飼料の高騰
- □農業を続けることが難しくなっている
- □現金による支援をしてほしい








▲4月22日 広原体育館

### いただいた声を議会活動へつな

高原町長へ提言書を提出




一般質問で取り上げ



皆さまの声を大切に、よりよい






貴重なご意見をありがとうございました

## テーマ③ 暮らしの困りごと



**主なご意見**

- □高齢者の移動手段を確保してほしい
- □防災無線が聞き取りにくい
- □情報格差への配慮が必要
- □野良猫・外猫対策
- □空き家問題と移住定住
- □草刈り後の処分場所不足
- □農業用水路の安全対策
- □自治会・区の担い手不足
- □道路や街灯の整備
- □有害鳥獣対策







▲4月23日 ほほえみ館

## げていきます




※内容は要約して掲載しています。詳しくはこちらの QR コードでご覧下さい。

※町長報告の様子は 11 ページをご覧下さい。

高原町づくりを目指します。

# 一般質問で取り上げた内容

（一般質問通告書）

町民の声をもとに、議員が一般質問で取り上げ、町の考えを問いました。



**外村　仁 議員**
・デジタル対応について等
一般質問



**末永　充 議員**
・雇用対策について等
一般質問



**温水 宜昭 議員**
・高齢者医療費対策・負担軽減について等
一般質問



**郡山 貞利 議員**
・閉校跡地の利活用について等
一般質問



**西嶋 陽代 議員**
・スクールバスの有効活用等
一般質問



**岩元 礼子 議員**
・物価高騰に伴う住民生活及び基幹産業への配慮等
一般質問



**山下 香織 議員**
・ふるさと納税の強化について等
一般質問



**前原 淳一 議員**
・産業振興と地方創生について等
一般質問



**福澤 卓志 議員**
・行政区の規模適正に関する考えについて等
一般質問

# 効率を考えた政策の推進



ほかむら　ひとし
外村　仁 議員

（一般質問の様子）

## ●デジタル対応について

**【問】イベントカレンダーに町内で行われる民間イベント等の情報を掲載できないか。**

【答】町が直接把握できないものも多く、公平性確保の観点から、原則として情報提供や掲載依頼があった場合に、イベントカレンダーへ反映していく。

**【問】高齢者や希望者を優先して戸別受信機配布等はできないか。**

【答】現在使用している防災行政無線の戸別受信機については製造終了しており、在庫に限りがあることから、新たな配布を行う事は考えていない。現行機器の追加配布ではなく、新たな情報伝達手段を含めた防災情報の発信体制の整備について検討を進める。

## ●空き家や耕作放棄地の利活用について

**【問】耕作放棄地の売買や名義変更を簡素化できないか。**

【答】名義変更については所定の手続き以外の方法はないものと認識しているが、農地中間管理機構への「利用権の設定」いわゆる農地の貸借については緩和制度がある。

**【問】耕作放棄地ごとの広さの内訳は。**

【答】10ａ未満が674筆36・3ha、10ａ以上30ａ未満が451筆74・4ha、30ａ以上50ａ未満が53筆19ha、50ａ以上100ａ未満が17筆10・6ha、100ａ以上が4筆8・1haとなっている。

**（意見）効率の悪い狭い農地や道が整っていない農地、山際の農地など、どう考えてもこれから先に農地として借り手が現れないと考えられる所は、所有者に地目変更等を促すことが必要と考える。**

**【問】耕作放棄地ではないが、隣り合う田圃・畑を集約したい場合に補助等はあるか。**

【答】国の事業で「大区画等加速化支援事業」があり、本年3月27日に県協議会が設立された。今後、担当者会議等で詳細がわかるため、その後農業者等への周知を図っていく。

# 雇用対策と公共施設の在り方について



すえなが　みつる
末永　充 議員

（一般質問の様子）

## ●宮崎フリーウェイ工業団地

**【問】推進状況は。**

【答】分譲面積28・05haに対し90・3％分譲済で、残り2・72haを県や関係団体と連携し、企業誘致に取り組んでいる。

**【問】工業団地内の雇用状況は。**

【答】従業員総数291名で、町内居住者30・2％、外国人労働者10・7％である。

**【問】今後、従業員の増加計画は。**

【答】物価高騰等で厳しい経営であるが、事業を拡大し、雇用を増やしたいとする企業もある。

**【問】高齢者雇用安定法による、就業導入企業者は。**

【答】雇用している事業者はあるが、制度として導入している事業者は把握していない。

## ●高原町シルバー人材センター

**【問】法人格を有していないため補助対象にならず、今後の運営が危惧されるが、対応策は。**

【答】関係各課への委託等で、支援の対応をしている。

**【問】会員数も減少傾向であり、喫緊の課題となるが。**

【答】会員増に向けた支援を行い、高齢者の就業を推進する。

## ●公共施設の老朽状況と施設保全

**【問】今年度が計画の終期となる施設保全の考え方は。**

【答】改修等を優先的に行い遊休財産となる建物等を整理し、売却等を行う。

**【問】新校舎設置等に係る今後の方針・対策は。**

【答】既存の高原中学校において、空き教室等の検討や校舎の増築、建物のリースや、財源確保等、早急に方向性を定める。

**【問】ほほえみ館に他の部署を設置する構想は。**

【答】住民サービスや防災機能向上、庁舎建設に係る費用の削減等に繋がるか等を含め検討を進める。

一般質問 ここが聞きたい Q&A

# 議員と語ろう会の御意見より



ぬくみず よしあき
温水 宜昭 議員

（一般質問の様子）

**【問】高齢者世帯における医療負担の軽減措置について。**

【答】既に一定の負担軽減措置が講じられていることから、町独自の軽減措置については財政状況や他の福祉施策との均衡を勘案しても、新制度の導入は難しいと考える。

**【問】敬老会への補助金のあり方について。**

【答】長寿をお祝いする目的で各行政区が実施する取り組みに対し、経費の一部を補助しているが、目的達成のため事業実施主体である行政区とも協議しながら敬老会への補助事業のあり方について、継続的に支援できるような施策を講じてまいりたい。

**【問】リフォーム補助金制度の早期復活について。**

【答】1年間あたりの実績額として約300万円から500万円前後、採択件数は約20件から40件であり、当該事業の実施により生活環境の向上及び町内企業の経済対策が一定程度図られたものと考える。尚、現在は空き家リフォーム補助金が活用できる事業を実施している。

**【問】県道有水・高原線や町道祓川・旭台線に於ける大型車両による、自転車通学影響への是正等について。**

【答】県道有水・高原線については道路管理者の小林土木事務所が木場谷工区の約900mを歩道設置を含めた道路改良が行なわれる予定で有り、町道祓川・旭台線については、新たな歩道設置等は難しいと思われるが、大型車両の通行が多いことは認識しており、自転車通学生の安全確保が図られるような対策が実施できるよう努めてまいりたい。




▲旧後川内小学校区 議員と語ろう会の様子

# 管理計画に基づく閉校跡地管理を!!



こおりやま さだとし
郡山 貞利 議員

（一般質問の様子）

**●閉校跡地について**

**【問】町長の跡地利用に関する基本的な考えは。**

【答】利用方法が地域の発展に資するものであるよう、ニーズをしっかり反映させ、住民の意見・要望を丁寧に伺っていく。

**●空き家対策と移住促進について**

**【問】空き家対策と人口減少対策（移住・定住）の関連性について町長の考えは。**

【答】空き家対策を移住促進及び人口減少対策の一環として位置づけ、計画的に推進していく。

**【問】空き家再生等推進事業導入の進捗は。**

【答】「宮崎県地域住宅計画」に事業を位置づけるため、「高原町空き家等対策計画」の見直しを含め、早期の事業化に向け取り組んでいく。

**●廃棄物処理について**

**【問】住民が実施する道路清掃等で排出した廃棄物を処分する場所の確保ができない地域が増えているが、町の考えは。**

【答】事業者や個人、誰でも廃棄できる状況は避けるべきであり、町が管理できる集積場等へ搬入いただき、収集した草木等について町で処分する方法など、よりよい仕組みづくりの検討が必要であると考えている。

**●教育行政について**

**【問】統廃合後の学校と地域（旧校区）の交流・連携は。**

【答】地域の方と連携してきた学習は、年間を通して高原小学校にて継続していく。地区行事の児童生徒の参画については、主催団体とともに地域学校共同活動を推進させ、地域の連携を深めていく。伝統、文化的取組、地域主導の行事に関しても子供たちが積極的に関われる仕組みづくりを行っていく。

**【問】高原中学校裏の法面、町道脇についてはどこが管理し、どのように管理していくのか。**

【答】町道部分や法面部分の除草・管理については、教育委員会と建設水道課が連携しながら専門業者による除草作業の必要性を判断していく。

# 住民の声に応えて



にしじま　はるよ
西嶋 陽代 議員

（一般質問の様子）

## ●県道西麓小林線

**【問】広原バス停付近の交差点に信号機設置はできないか。学校が閉校になり、移設もできるのでは。長年の要望である。**

【答】当該区間を含め、今年度、小林土木事務所において、歩道設置に係る測量設計業務を実施する予定。その中で、信号機設置が可能かどうか、協議・要望等を行っていく。

**【問】三福神バス停付近の横断歩道は、渡るのが怖い。場所を移せないか。**

【答】小林土木事務所に要望する。

**【問】前の原バス停から高塚バス停付近までの道路は、落ち葉が堆積し、路面が滑りやすい。緊急整備がされているが、抜本的な対策は。**

【答】定期的に維持管理していただく。

## ●公立保育所

**【問】土曜開園が広原保育所のみになったという事で、利用状況、保護者の意見・要望はないか。おやつ持参は、不公平感が広がるので、園で一律に提供してもらいたいという要望がある。**

【答】4月は、延べ17名、5月は、延べ28名。意見や要望はない。「おやつ」について、指定管理者に要請を行っている。

**【問】子育てできる環境があってこそ、若い世代が帰ってくる。将来の公立保育所の在り方をどう考えているか。**

【答】狭野保育所は、令和8年度末をもって閉所。広原・後川内保育所は、「居場所対策事業」を実施しているので、引き続き、運営する。今後、民間保育事業所の保育需要及び、出生数等を鑑みて、方向性を検討する。地域の皆様のご意見を伺う機会を設ける。



▲楽しいおやつの時間

## ●交通インフラ

**【問】スクールバスの現状と課題は。バス停の設置、標識やステッカーの設置は。**

【答】大きな問題もなく運行できているが、調査研究が必要。バス停の設置はできないが、かけこみ110番のようなステッカーについては検討する。

**【問】登校便に、高齢者や旧狭野・旧広原中学生を乗せることはできないか。**

【答】現段階では予定していない。

**【問】乗り合いタクシーについて、予約システムや停留所、運行時間の見直しは。**

【答】利用者及び運行業者の意見を踏まえ、必要に応じて見直す。半年から1年、場合によっては1年以上を要する。

# 物価高騰対策について



いわもと　れいこ
岩元 礼子 議員

（一般質問の様子）

**【問】物価高騰を受け住民や農家の生活困窮の現状について認識を持っているか。**

【答】農家をはじめ町民の皆様の日々の生活に深刻な負担となっている現状を認識している。物価高騰対策を国や県と連携しながら適切な支援策を講じることが重要。

**【問】商品券の到達状況とどの程度消費に回っているか。**

【答】6月10日現在98％受け渡した。利用率約65％。

**【問】商品券発行にあたっての事務経費割合は。**

【答】たかはる暮らし応援商品券事業の予算額は9,000万円の事業。換金分8,250万円、事務経費750万円。1万円につき約830円の経費がかかっている。

**【問】現金給付に変える考えはないか。**

【答】高原町の経済を活性化する商品券が一番適切である。

**【問】保護者の負担軽減対策として中学校の給食無償化を目指す考えはないか。**

【答】今後検討を進める必要がある。＊中学校生徒数219名（令和8年5月1日現在）、令和8年度年間給食費68,250円（350円×195食）、無償化した場合の全体事業費予定　14,946,750円。

**【問】バス、タクシー、鉄道など公共交通の利用に商品券は利用できないか。**

【答】利用はできない。

## ●農業継続支援について

**【問】畜産、酪農経営の厳しい状況をどのように認識されているか。**

【答】資材の値上げ、燃料高騰に加え資材の供給に不透明感があり、畜産経営の不安、現場の切迫した状況を感じているところである。

**【問】追加支援を講じる考えは。**

【答】畜産飼料高騰対策支援事業、和牛繁殖経営緊急対策支援事業、園芸農家等エネルギー高騰対策事業を実施してきた。

**【問】将来を見据えた支援の基本方針とビジョンは。**

【答】基本方針は未来につなぐ園芸基盤強化対策事業、優良繁殖素牛導入支援事業、持続可能な魅力ある高原酪農支援事業、優良肥育牛導入支援事業など継続的に支援を行う。農業後継者や新規就農者への人材育成、スマート農業を活用した農作業における省力化を図る経営安定対策、家畜の改良推進や防疫対策の強化などの安心、安全な畜産物の安定生産等に取り組んでいく。

**【問】今後どのような生産基盤を守っていくのか。**

【答】国の予算が成立され重点支援交付金が予算組されたので地域の実情に応じた対応をしていきたい。

# 未来につながる高原町づくりを求める



やました　かおり
山下 香織 議員

（一般質問の様子）

## ●財源確保について

**【問】ふるさと納税は単なる財源確保ではなく、高原町を知ってもらい、関係人口や移住定住につなげる重要な施策だと考える。今後どのように発展させていくのか。**

【答】ふるさと納税は地域の存続や行政サービス維持に関わる重要な財源である。新たな返礼品の開発や体験型返礼品の充実に取り組み、企業版ふるさと納税も活用しながら寄付獲得を目指す。また、高原町の魅力を体感していただくことで関係人口の創出や移住定住につなげていきたい。

**（要望）ふるさと納税を単なる寄附で終わらせず、高原町のファンづくりや移住定住につながる仕組みづくりを進めるべきと要望した。**




▲企業版ふるさと納税パンフレット

## ●移住・定住について

**【問】本町で育った子どもたちが将来「残りたい」「帰ってきたい」と思える町づくりや、町外の方から選ばれる町づくりを進めるため、若者流出の要因をどのように捉えているのか。また、移住・定住を進める上で重要となる住宅確保や特色ある教育にどのように取り組んでいくのか。**

【答】若者流出については具体的な分析は行っていない。移住希望者にとって住まいの確保は大きな課題の一つであると認識しており、空き家や公的住宅の活用を進める。教育面では、小中一貫校「たかはる学園」を中心に、英語教育やＩＣＴ教育、ふるさと学習を推進し、地域への誇りや愛着を育むシビックプライドの醸成に取り組む。また、スクールワイドＰＢＳを導入し、望ましい行動を育てながら安心して学べる環境づくりを進める。

※スクールワイドＰＢＳ（Positive Behavior Support）とは学校全体で望ましい行動を育て問題行動を未然に防ぐ仕組みであり、共通ルールのもとで良い行動を認めて支援することで、安心して学べる環境づくりを進めるもの。

**（要望）人口減少対策には、若者が町を離れる理由や戻ってこない理由を分析することが重要。住宅、雇用、教育を一体的に進め、子どもたちや一度町を離れた方々が「住みたい」「帰ってきたい」、そして「高原町に貢献したい」と思える町づくりを求めた。**

# 産業振興と地方創生



まえはら　じゅんいち
前原 淳一 議員

（一般質問の様子）

**【問】特産品開発のための支援やブランド化への戦略策定、公共施設利活用などの緩和措置は。**

【答】豊富な水資源などの特性を活かし、あるいは外部から新たな視点を取り入れ、町内事業者の特産品開発など支援を行っている。さらに、専門人材を中心とした「高原町ブランド研究室」を設置し、さらなる強化を図っていく。公共施設の活用における規制緩和においては具体的案件ごとに対応していく。

**【問】人材確保と育成の取り組みは。**

【答】地域おこし協力隊の活用や専門人材の活用により確保できると考える。先進地視察などにより育成も可能だ。

**【問】６次産業化への補助事業と支援は。**

【答】本町における独自の補助事業はない。支援としては国や県の地域相談窓口などと連携し、きめ細やかな対応をしていく。

**【問】企業版ふるさと納税についてＴＭＡを設けるべきだ。**

【答】今後とも具体的事業を設定し、寄附獲得に努めていく。

**【問】産業振興と出生率はリンクする。考えは。**

【答】出生率の向上には産業振興等による安心感が必要だ、保育サービスの拡充に向け検討していく、また、町内外の人々にとって、魅力的な地域づくりを推進していく。

**【問】外国人労働者について町内事業者と連携し活用策を検討すべきだ。**

【答】労働力不足は喫緊の課題だ、町内事業者から意見を聞くなど必要な施策を進める。

**【問】町内で働く外国人労働者との交流が必要だ。**

【答】地区の行事や伝統芸能など連携が可能か検討する。

**【問】神話伝説をもとにしたアニメ制作について町長の考えは。**

【答】具現化することは町おこしにつながると考える。担当課で協議を進めており、様々な方法で検討していく。

**【問】有名人を高原に呼ぼう。**

【答】情報収集を行い可能性を探ることが第一歩だ。

# 持続可能な地域運営へ



ふくざわ　たくじ
福澤 卓志 議員

（一般質問の様子）

**●規模適正に関して**

**【問】校区撤廃、人口減少や区長の負担軽減の観点から、区長・班長配置規則の見直しが必要だが。**

【答】統合等については慎重に、地域から要望があれば協議を進める。

**【問】以前質問した「区長の負担軽減」についてどのように進んでいるか。**

【答】月2回のどちらかに配布物を集約して負担を減らし、本年度から飼料用稲等の(WCS)の転作確認等の随行依頼を行わないようにしている。

**●消防団規模見直しに関して**

**【問】団員数と所属する役場職員の数は。**

【答】166名中62名が役場職員、この内10名が女性部で役場職員は4名所属している。

**【問】欠員補充に関し、どのように働きかけしているか。**

【答】年2回、回覧等で周知しているが、各部に任せている。

**【問】ポンプ車の更新は重要だが、小型動力ポンプの導入による機動性の確保とコスト削減も重要だと考えるが。**

【答】現在7部のポンプ車購入手続きを進めている。今後は2部のポンプ車が更新も控えている。

**●各課の適正加配措置に関して**

**【問】適正加配についての考え方は。**

【答】副町長や総務課長が中心となり、業務量等各課長から聞き取りを行い、人員配置を行なっている。

**【問】個々の能力や資格の有無に加え、それぞれの適性なども重視して異動が行われているか。**

【答】各課課長等にヒアリングを行い適材適所になるよう努めている。今回初めて異動希望調査を行った。

**●公共施設等管理に関して**

**【問】廃校となった校舎の校内に残っている備品の管理と処分を含めた考え方は。**

【答】中学校・小学校で活用出来るものは再利用し、町民への無償譲渡や販売も検討しており、行政需要があれば使用していく。

**【問】廃校後の校舎等を利活用したいという団体の申し出は。**

【答】教育関係2件、農業関係1件、金融関係1件の候補地としての相談があった。

**【問】盗難や器物破損などが他の自治体で横行しているが、防犯カメラの設置はできないか。**

【答】一定の効果があることは理解している。

一般質問 ここが聞きたい Q&A

## 議会の在り方検討特別委員会　行政調査報告書

**目　　的：議員報酬改正について先進的に取り組んでいる三股町議会について調査し、本町の取組の参考に資する。**

**調査日時：令和８年１月２２日（木）**

**調査場所：三股町役場**

**調査内容：**

**１．三股町議会の活動状況**

三股町議会では、議員報酬の見通しに向け、町当局へ報酬等審議会の開催を申し入れしており、審議会では、議会運営の状況や議員活動日数等、議員活動の実態を客観的な資料で説明し、適正化について理解を求めていた。

**２．議員報酬の現状と課題（三股町）**

議員報酬額は月額236,000円（高原町は202,000円）であるが、税金等を差し引いた手取り額は19万円程度であり、専業議員として生活を維持するのは極めて困難な水準である。過去20年間で最低賃金は1.67倍に上昇しているが、議員報酬は追いついていない状態である。また町長は共済組合に加入しており、退職金制度も存在する。例えば４年間（４８ヶ月）勤めた場合の退職金は、給与月額に20.016ヶ月分を乗じた額となる。一方、議員には退職金も、厚生年金もない。報酬改定は、現職議員の生活保障だけでなく、若手や多様な人材が議員を志すための環境整備として不可欠である。定数削減については、報酬引き上げと引き換えに定数を削減すべきとの意見もあったが、委員会運営の維持や多様な民意の反映を考慮すると、現在の定数（12名）は限界であるということであった。

**３．まとめ**

今回の行政調査を通じて、町議会が直面する課題を共有し、今後の高原町の報酬等審議会や条例改正に向けた諸課題・意見を整理することができたと感じた。

高原町議会では、次期選挙を見据え、なり手不足の解消等も視野に入れて、まずは報酬改定を行うことで誰もが立候補しやすい環境の構築を目指す必要があると考える。

# 議　会　の　動　き

## ◎「議員と語ろう会」の町長報告と提言



○５月１５日　「議員と語ろう会」において提案された意見や要望等を受け、町長へ提言書の提出をしました。

## ◎東京都日野市議会行政視察受入れ



○５月１８日　東京都日野市議会が来庁され、「企業版関係人口づくり等」について行政視察が行われました。

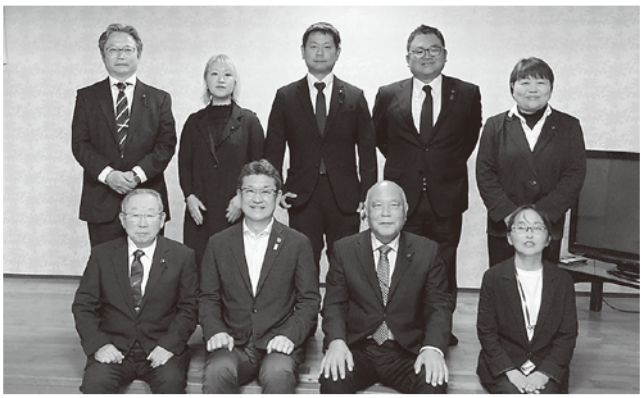
（４月１日～６月３０日まで）

| | | |
|---|---|---|
| ４月 | １日 | 議会だより編集委員会 |
| | ３日 | 第４９回高原町総合家畜共進会 |
| | ９日 | 全員協議会 |
| | | 議会の在り方特別検討委員会 |
| | ２０日 | 議員と語ろう会（旧狭野小学校区） |
| | ２１日 | 議員と語ろう会（旧後川内小学校区） |
| | ２２日 | 議員と語ろう会（旧広原小学校区） |
| | ２３日 | 議員と語ろう会（高原小学校区） |
| | ２８日 | 議会運営委員会 |
| | | 全員協議会 |
| | ３０日 | 臨時会 |
| | | 全員協議会 |
| ５月 | １日 | 子牛品評会（温水議員） |
| | | 「たかはる学園」開校記念式典 |
| | １５日 | 議員と語ろう会の町長報告 |
| | １８日 | 日野市議会行政調査受入れ |
| ６月 | １日 | 子牛品評会（福澤議員） |
| | ３日 | 議会運営委員会 |
| | ５日 | 議会運営委員会 |
| | | 全員協議会 |
| | １０日 | ６月定例会（１０日～１７日） |
| | | 総務経済常任委員会 |
| | | 文教厚生常任委員会 |
| | １６日 | 全員協議会 |
| | ３０日 | 議会だより編集委員会 |

※その他、議長については議長用務があります。

## 議会活動に付随する主な議員活動

### ○県知事との意見交換会



○３月３０日　河野知事と懇談し、県の方針を伺い町の要望等を届けました。

### ○西諸県選出県議の県政報告会



○４月９日　下沖県議より、令和８年度 県予算について説明があり、意見交換を行いました。

※この他議員活動として町や各種団体主催の公的行事への出席等を行っています。




９月定例会は　**９月２日(水)～**（質問者数等により日程が決まります。）

**本会議は午前１０時開会**　※請願・陳情を出される方は８月25日(火)までにご提出下さい。

詳細は町公式ホームページにて
高原町議会事務局　☎４２－５１３８

YouTubeにてライブ配信をしております。
チャンネル登録をお願いします。

お詫び文

前回９５号の１４ページに記載内容の誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。
■発行日 誤：令和7年4月15日→正：令和8年4月15日　■誤：後川内小・福留憲昭(校長先生)→正：後川内小・福山憲昭(校長先生)

# きらり★たかはるびと

あなたの夢を応援します!!




竹内　友美さん
（下後川内区）


旧後川内小学校

## 『後川内まちづくり協議会　うしとぐっベース』

□開館時間／8：00～16：00（月～金）
□住　所／旧後川内小学校
□電　話／080-1713-1237

後川内まちづくり協議会『うしとぐっベース』の集落支援員です。多世代の居場所作りのお手伝いをします。旧小学校の空き教室をいかした子ども達の「第3の居場所」、高齢者の「交流拠点」です。今、職員室・校長室・事務室・図書室・理科室・理科準備室を整備しています。利用したい方、どうぞ声をかけてください。

8月14日（金）の「後川内祭り」の〝子どもが楽しめるゲームコーナー〟を企画しています。お手伝いしてくださる方を募集しています！！




奥　美佐夫さん
（上広原区）


神武の館に飾られた
七夕飾り

## 『皇子原公園』



□開館時間／8時30分～17時00分
（おうじばるの木　10時00分～16時00分）
□住　所／宮崎県西諸県郡高原町大字蒲牟田3番地251
□電　話／0984-42-3393
□休館日／毎週木曜日（※春休み期間中、GW期間中、7月下旬～11月上旬、年末年始を除きます。）

皇子原公園の支配人として、日々、活動しています。G・Wはニジマス釣り場が大盛況でした。セルフ焼き台もありますので、魚を食べるだけもできますよ。大人も子どもも楽しめるイベントを準備して、お待ちしています !!

（イベントの主なもの）
7/20…夏休みニジマス釣り大会
8/9…梅こそうめん
8/19…ニジマスつかみ取り大会
9/23…たかはるワールドフェスタ
10/10…ゴーカートレース大会
11/22…グレンデ登り大会
12月　…森育クリスマスリース作り（予定）
1/10…凧揚げ大会




竹之下　知子さん
（湯之元区）


おすすめ酵素風呂

## 『杜の酵素８０８』

Instagram
@KOTALINO_808

□営業時間／9：30～20：00
□定休日／不定休（酵素メンテナンス日あり）
□住　所／高原町蒲牟田7248-2
□電　話／080-2215-0808

6月14日に1周年を迎えました。築64年の古民家をリフォームし、酵素風呂とバリニーズマッサージ等を施術しています。身体と心と魂まで、健康でいてほしい！と癒やしの空間を提供中です。薬草講座やタイ式ヨガの講座、カフェもあります。



## 編集後記

今号が発行される頃には、梅雨もあけているでしょうね。そして、イランとイスラエルの停戦はできているでしょうか。私たちの生活にも大きな影響が出ています。一日も早い終息を願うばかりです。未来を歩むためには平和が必要です。暑い夏がきます・・・・。

編集委員　西嶋 陽代

■発行日／令和8年7月15日 ■発行／高原町議会 ■編集／議会だより編集委員会
〒889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地 ☎(0984)42-1513